

令和8年度一般会計 当初予算

3度目の審議で

3月定例会・5月臨時会で否決されていた
3月定例会提出のものから**800万円**の

5月11日臨時会では2度目の否決

5月11日開催の臨時会で、令和8年度一般会計当初予算案が再度提出されたが、否決された
(賛成5：反対8)。

提出された予算案は、3月定例会のものと同規模の105億3,500万円。政策的には、将来の財政を検討する専門家会議の招へいに50万円を計上。さらに、予算執行が遅れることでできなくなる観光PR動画の撮影を削除するものであった。

反対討論

- ・財政の検討は評価するも、当初予算で指摘した問題や町民要望に応える新たな施策がない (渡辺)
- ・改善は「部分的」で予算額も内容も変わらず将来の戦略が示されている予算とは言えない (岡田)
- ・今予算も大型建設事業による財政圧迫とサービス低下懸念が払拭できる策とは言えず反対 (羽根)
- ・庁舎建設反対。洪水浸水並びに土砂災害リスク、地盤脆弱性、専門家会議で財政懸念が露呈 (松崎)
- ・新庁舎建設の危険性や交通安全対策の不備、議会指摘無視の予算案再提出に反対する (浜井)
- ・否決を真摯に受け止めず巨額の財政負担を見直さず計画性を欠き優先課題を軽視している (大沼)

賛成討論

- ・議員任期最後に修正案無し否決で行政の根幹の予算編成に議会が暴走、行財政損失は町民負担 (一石)
- ・こどもの権利条例制定遅れて市民活動の方々も大迷惑だ。反対なら、修正予算を提出せよ (小笠原)
- ・先に否決された予算とほぼ変わらぬ本案は少ない予算で最大限の成果をあげられる予算案 (古谷)



暫定予算で開催が遅れたこども会議

可決された予算は、3月定例会提出の予算案から大きく組み立てが変わるものではない。今年度の予算で対応が難しい点については、「追補版」説明資料として、町の対応方針が文書として示された。

対応方針

1. 新庁舎整備を含む大規模な公共施設整備事業
2. 公共施設用地の課題対応
3. ふるさと納税の推進
4. 地域公共交通
5. 地域の役員の担い手不足への対応
6. 二宮駅北口公衆トイレの改修
7. こどもの権利条例策定
8. その他、DX推進や環境問題、移住定住施策など

ようやく成立

今年度の一般会計予算が可決された（賛成 9：反対 4）。
減額で、規模は**105億2,700万円**となった。

6月17日今回の予算変更は大きく2つ

A：当初予算の執行遅れや暫定予算執行による事業の停止や、実施時期の変更によるもの
B：その他の変更（6月補正にあたる）

A 当初予算執行遅れによるもの

○観光PR動画・ポスター制作（中止）	歳出	減	200万円
○ふるさと寄附金（推進）	歳出	増	200万円
○第6次総合計画後期基本計画策定委託（9年度から実施）	歳出	減	578万円
○公共施設等総合管理計画改定委託（9年度から実施）	歳出	減	790万円
○エコフェスタにのみや（町を除き共催団体で実施）	歳入	減	1万円
	歳出	減	12万円
○袖が浦プールの環境整備	歳出	増	80万円
○町民体育館のLED照明借上げ（リース期間変更）	歳出	減	64万円

B その他の追加

○物価高対応子育て応援手当の不足分計上	歳入	増	368万円
○里地里山保全等促進事業補助金	歳入・歳出	増	各8万円
○防犯カメラ設置費補助金	歳入	増	25万円
	歳出	増	34万円
○指定ごみ袋購入費	歳出	増	368万円

単位はいずれも千円以下四捨五入

賛成討論

- ・公共施設再配置事業の見極めと、こどもの権利条例につき学校を含め周知することを評価（渡辺）
- ・ふるさと納税で戦略的財政対策、プロポーザルで高実効力評価。財政安定には目標設定を（岡田）
- ・町民生活を最優先とした予算編成と対話による持続可能なまちづくりを求め賛成（羽根）
- ・東大果樹園跡地、温水プール等協働コンセプトで資源の結集と展開、子どもが主語の教育体现を（一石）
- ・予算が通らないことでの痛手大きい。町民に事業実施が遅れた損失の周知求めて賛成（小笠原）
- ・計上されている事業はすべて重要なので、しっかりと行うため一刻も早く可決してほしい（古谷）

反対討論

- ・予定地の洪水浸水並びに土砂災害リスク、地盤脆弱性に鑑み新庁舎整備事業の減額を求める（松崎）
- ・コスト隠ぺいや立地リスクのある新庁舎計画を強行する予算案に対し、断固反対する（浜井）
- ・軟弱地盤での庁舎建設は安全・財政面で極めてハイリスクであり抜本的見直しを求める（大沼）
- ・1年間を見通した予算ではない。特に公共施設再配置事業は相変わらず課題先送りのまま（野地）

焦点の1つとなった
新庁舎整備

